

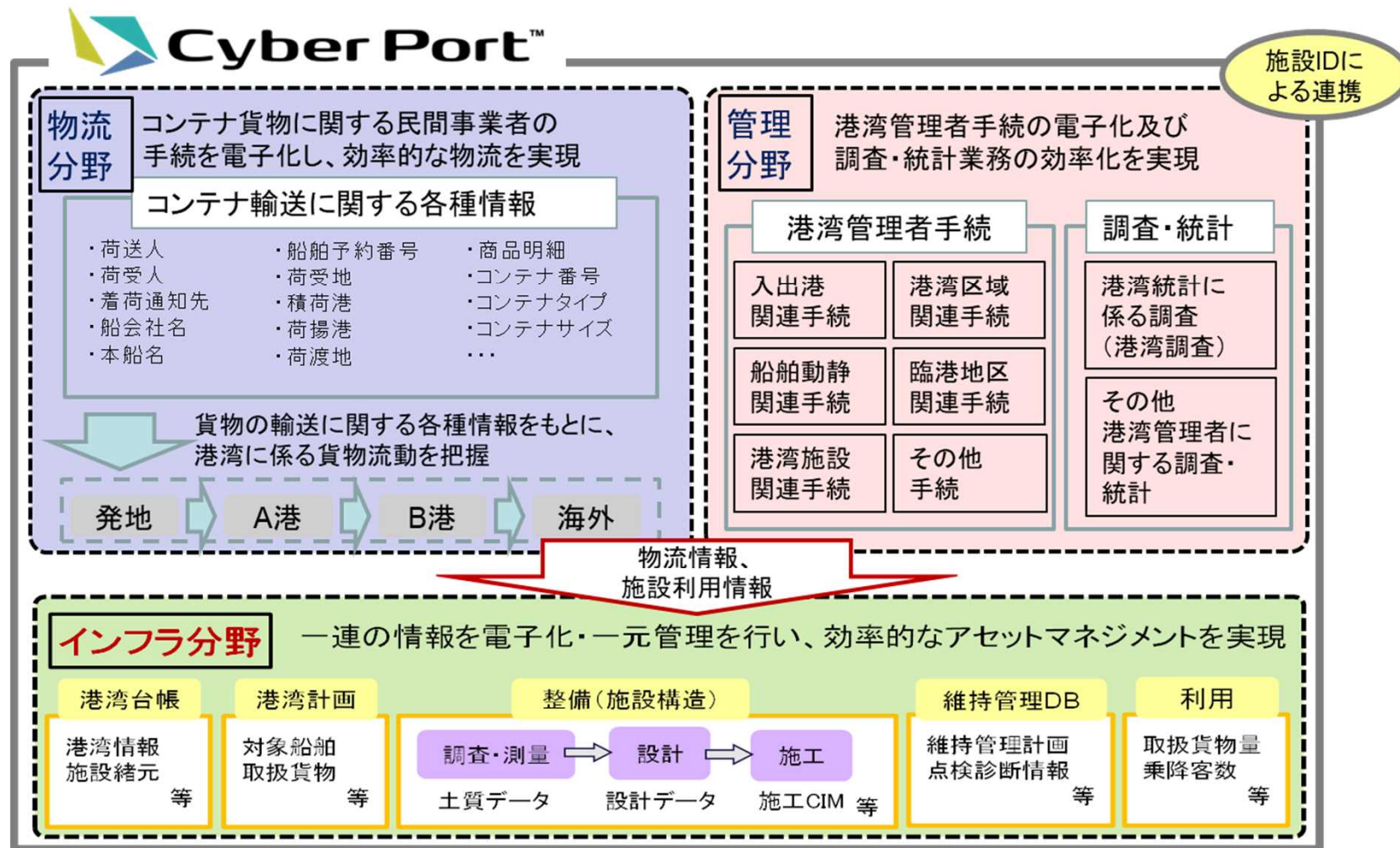
# サイバーポートについて

---

令和4年11月16日  
国土交通省港湾局

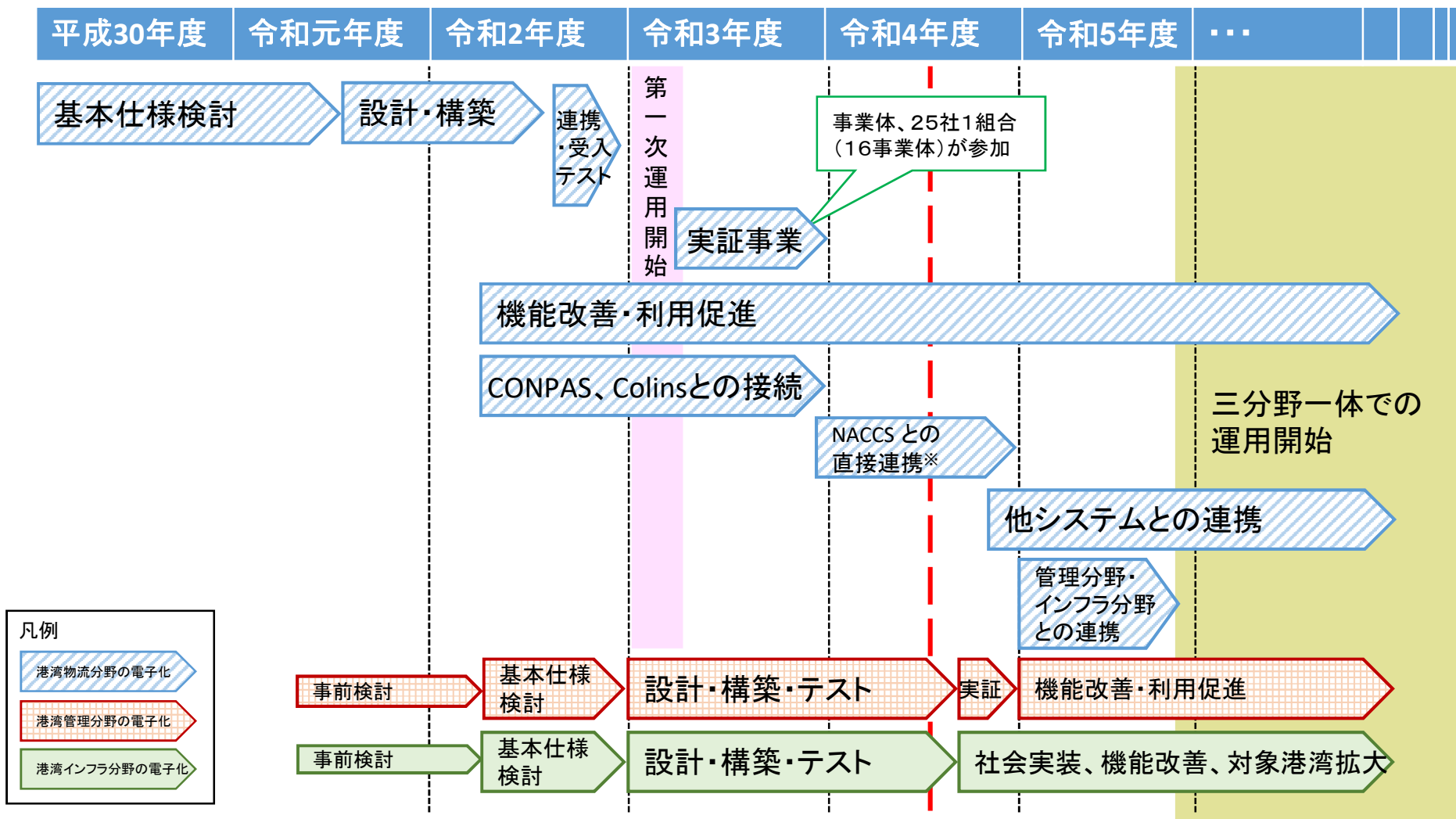
# サイバーポートの全体像

- 現状、紙、電話、メール等で行われている港湾関連手続を電子化し、港湾を取り巻く様々な情報が有機的に繋がる事業環境を実現することで、港湾全体の生産性向上を図る。
- このため、民間事業者間の港湾物流手続(港湾物流分野)、港湾管理者の行政手続や調査・統計業務(港湾管理分野)及び港湾の計画から維持管理までのインフラ情報(港湾インフラ分野)を電子化し、これらをデータ連携により一体的に取扱うデータプラットフォームである「サイバーポート」の構築、機能改善を進める。



# サイバーポートに関するスケジュール

- 令和3年4月に港湾物流分野の第一次運用を開始。
- 各分野で構築や機能改善、利用促進を推進しつつ、令和5年度(2023年度)中に三分野一体での運用を実現する。

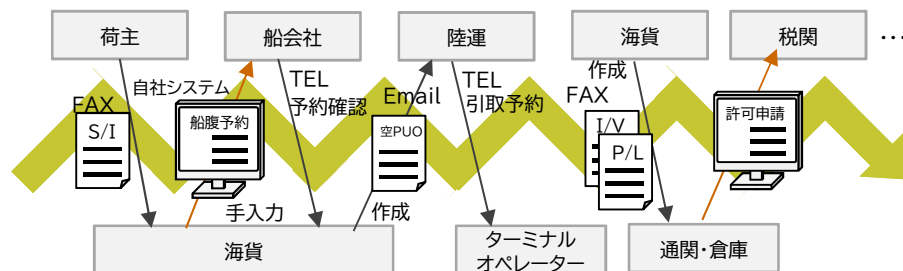


※netNACCSを介したファイル連携機能は、第一次運用開始時点で実装済

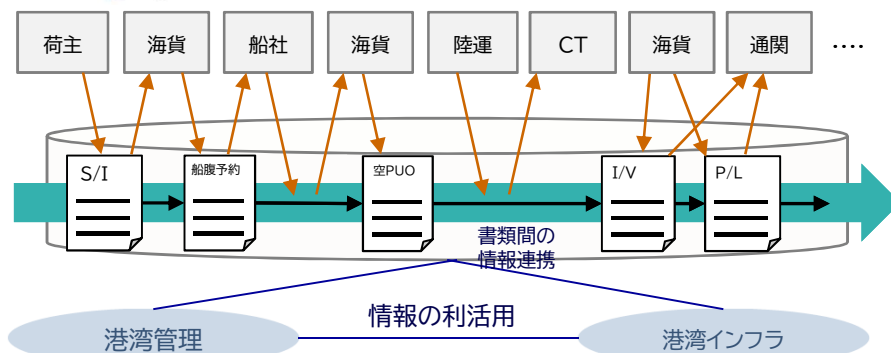
# サイバーポート(港湾物流分野)の概要

- 現状、紙・電話・メール等で行われている民間事業者間のコンテナ物流手続を電子化する「サイバーポート※1」の取組を推進。  
業務の効率化により、コンテナ物流全体の生産性向上を図る。(※1 令和3年4月1日から港湾物流分野の第一次運用を開始)
- 令和4年11月1日時点で、計315社※2からの利用申請を受付。(※2 複数の事業種を有する会社もあるため、のべ事業種別登録数は計454者)

現状の事業者間の情報伝達イメージ



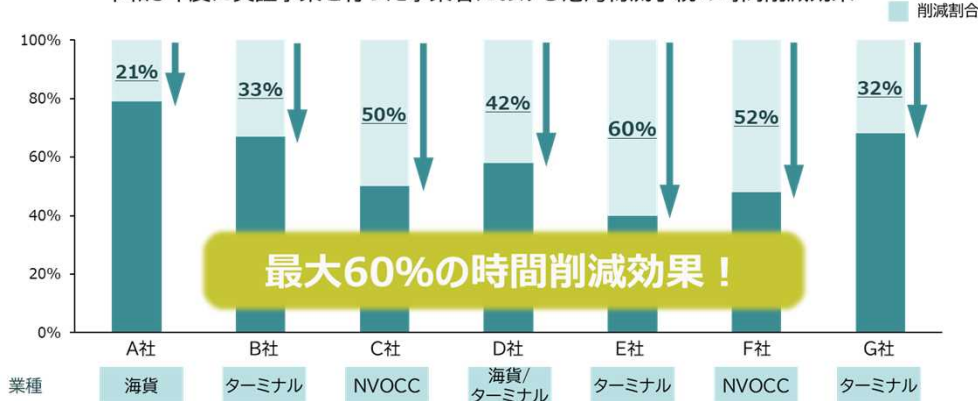
Cyber Port™ を活用した事業者間の情報伝達イメージ



## 【データ連携による短期的効果】

- ・ データ連携による再入力・照合作業の削減
- ・ トレーサビリティ確保による状況確認の円滑化

令和3年度に実証事業を行った事業者における港湾物流手続の時間削減効果



## 【情報利活用による長期的効果】

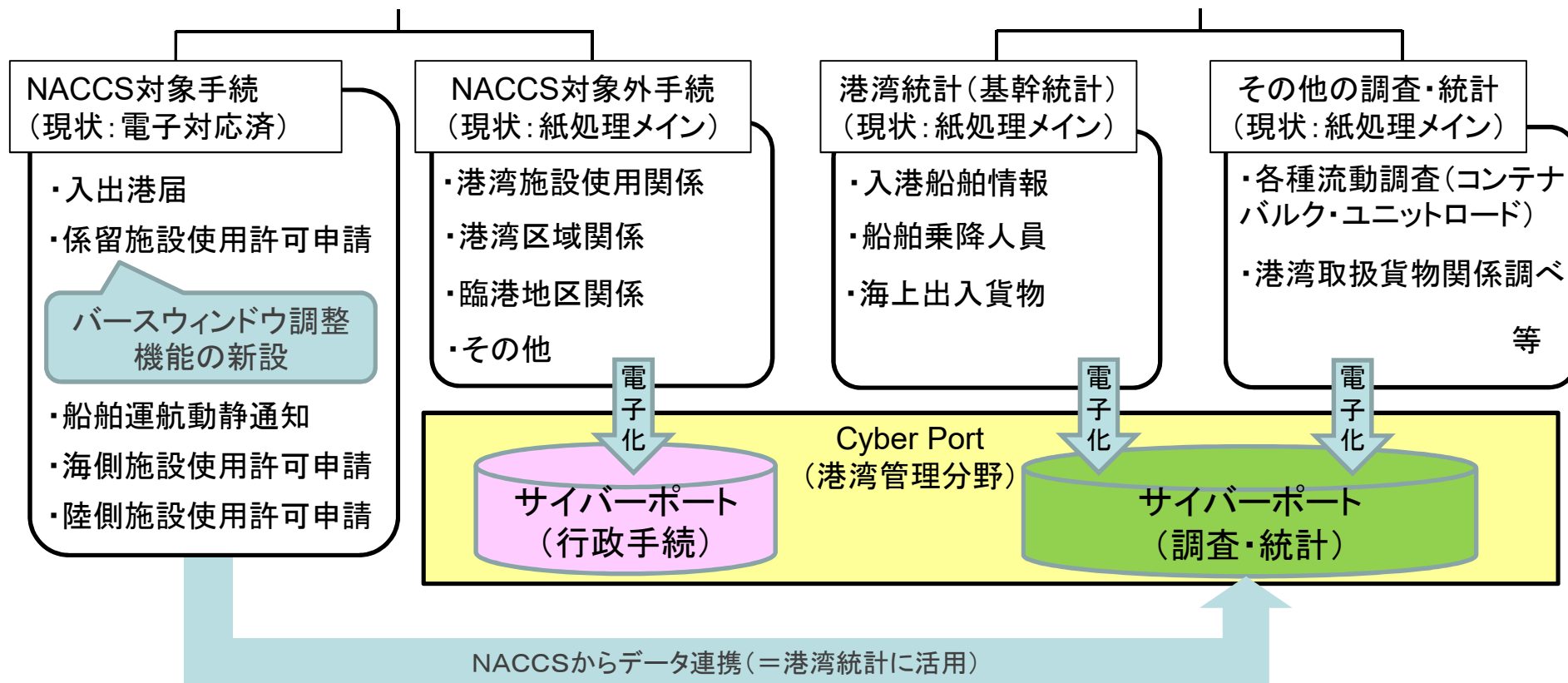
- ・ データ分析に基づく戦略的な港湾政策立案(国等)  
(港湾施設に関する計画、整備、維持管理に至る効率的なアセットマネジメント等)
  - ・ 蓄積される情報とAI等の活用等により新たなサービスの創出(民間事業者等)
- ▶▶ ・ **コンテナ物流全体の生産性の向上**  
・ **国際競争力強化**

# サイバーポート(港湾管理分野)の概要

- サイバーポート(港湾管理分野)においては、「港湾行政手続」及び「調査・統計業務」の電子化・効率化を図る。そのため、NACCS対象手続の利便性向上、NACCS対象外手続の電子化、基幹統計である港湾統計等を対象とした調査業務の電子化を実施する。
- 行政手続や統計調査に係る一連の業務行程を一貫してシステム化し、連携させることによって、業務効率化や統計の公表の早期化等を実現する。

## ○港湾管理者関連の行政手続

## ○港湾関連の調査・統計



# サイバーポート(港湾インフラ分野)の概要

- 港湾の計画から維持管理までのインフラ情報を連携させることにより、国及び港湾管理者による適切なアセットマネジメントを実現する。(適切な維持管理の実施、更新投資の計画策定)
- 港湾施設の情報を一元的に管理することにより、同一情報の入力を省力化し情報の一覧性や更新性を高めるとともに、遠隔での技術支援などにより、災害時の迅速な復旧にも寄与する。
- また、蓄積されたデータを利用することにより、政策の企画立案や民間の技術開発の促進に寄与する。

